

# 県南支部だより

## CONTENT ● ● ● ● ●

- 県南支部長挨拶
- 令和7年度 日本看護協会通常総会参加報告
- 令和7年度 懇談会
- 令和7年度 支部研修会
- ふくしま看護体験イベント
- まちの保健室
- 第18回 県南支部看護研究発表会
- 施設紹介  
(医療法人社団 博英会 かねこクリニック)
- 令和7年度 支部役員・委員紹介
- 編集後記

公益社団法人 福島県看護協会県南支部

令和8年2月発行

写真/ジュピアランドひらた

## 県南支部長挨拶



福島県看護協会 県南支部長  
J A 福島厚生連 埴厚生病院 吉田 ミツエ

今年度より支部長を拝命致しました。日頃より、県南支部の活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

また、多忙さや変化の大きさに戸惑いを感じる看護の現場において、患者さんや地域に寄り添い続けておられる会員の皆様に、深く感謝と敬意を表します。

さて、今年度、支部活動としまして、行政保健師と看護管理者の「連携」をテーマとした懇談会では地域のニーズを知り、看護職に何が求められているか考える機会となりました。研修会では ACP 実装編とした事例発表、グループワークを通して意思決定支援について考えが深まりました。看護研究発表会では、日頃の看護実践や事例報告が発表され活発な意見交換の場となりました。また、「まちの保健室」をはじめとした地域貢献活動や関係機関との連携を通して、看護の役割を発信するだけでなく、地域との温かなつながりを感じることができました。県南支部活動が、学び合うだけでなく、日頃の思いや悩みを共有し、会員が互いに支え合える機会となり有意義な時間を共有できたと思います。

今後とも会員の皆様とともに、やさしさと前向きな気持ちを大切にしながら、笑顔と安心の広がる県南支部活動を築いてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 令和7年度

## 日本看護協会通常総会参加報告



J A 福島厚生連 白河厚生総合病院  
鈴木 文子

令和7年度日本看護協会通常総会が6月11・12日に幕張メッセにおいて開催されました。今回の総会では、秋山智也氏が日本看護協会初の男性会長として就任し、看護界の新時代が幕を開けました。

「看護の将来ビジョン2040」が提示され、3つの柱が示されました。第一に「その人らしさを尊重する生涯を通じた支援」、第二に「専門職として自立した判断と実践」、第三に「多職種との協働」です。ビジョン実現には看護職が生き生きと働き続けることのできる環境の確立が重要です。つまりは看護師のウェルビーイングが不可欠であると言われています。

令和7年度重点政策として、4つの方針と10の重点事業が策定されました。全世代の健康を支える看護機能強化、キャリア継続支援、看護職の裁量発揮推進、健康危機管理体制の構築が掲げられています。

2040年問題を見据え、地域包括ケアの推進、タスクシフト・シェアの実施、特定行為研修の活用など、看護職の専門性向上と役割拡大が重視されています。そのためにもウェルビーイングの状態が日々の実践にやりがいを実感し心身共に充実して働ける環境を構築することそして私たち一人ひとりが日々の実践でビジョン実現に向けて貢献することの必要性を感じました。



## 令和7年度 懇談会



令和7年9月9日（火）須賀川市民交流センターtette（テッテ）にて、看護協会活動の理解や現場課題の共有など、看護職能団体としての連携強化を目的とした懇談会が開催されました。

はじめに、福島県看護協会佐藤博子会長より、令和7年度の重点事業・事業計画について講演がありました。また、地域の看護機能強化を目的に今年4月に開設された福島県訪問看護支援センターの柏木久美子センター長より活動についてお話がありました。その後、県中保健福祉事務所 健康増進課長総括保健師の逸見京子様を講師にお迎え「行政保健師の活動と医療関係との連携」について講演を頂きました。行政における保健師の専門性を生かした役割や活動また保健活動での苦慮などのお話を聞くことができ行政と医療機関の連携強化の重要性を学びました。講演後は、グループワークを行い、通院を自己中断された患者様の再受診へ繋げる働きかけや県民全体の検診受診率を向上させるにはなど積極的なディスカッションが交わされ大変有意義な懇談会となりました。



## 令和7年度 支部研修会

令和7年10月10日（金）、白河厚生総合病院にて支部研修会が開催され、44名が参加しました。

今年度は「ACP」を福島県看護協会統一テーマに、県南地域3病院による「ACP/意思決定支援の現状報告」が行われました。また、白河厚生総合病院、総合診療科宮下淳先生より「福島県県南地域でのACP実践！」と題して、県南地域ACP実践プログラム、ACPに関する実態調査についてご講演をいただきました。講演後、調査から浮き彫りとなった、ACP実践への障壁の1つ「患者に死を認識させずにACPを行う方法とは？」についてシナリオを用いてグループワークおよび発表を行いました。発表では「他施設の取り組みを知り、自施設でも活用できそう」などの感想が聞かれ、大変有意義な研修会となりました。



2025年  
ふくしま  
看護体験  
イベント



令和7年7月26日、須賀川市民交流センターtette(テッテ)でんぜんホールで開催されました。事前に県南地域の中学生とその保護者を対象に参加の募集をしました。当日の参加者を含め55名の参加がありました。

前年度に引き続き各病院のナースユニフォームの展示や試着しての記念撮影が行われました。大変好評で順番待ちが出来るほどでした。「AED体験」「心音聴取」「手洗いチェック」「赤ちゃん抱っこ」の体験や「フライトナースの仕事」「看護学生の一日」などのDVD鑑賞も行われました。「進路相談」では、白河厚生総合病院附属看護学校の教員の方より、看護師になるための必要な教育から免許取得までの流れ、その後の進路について相談に乗って頂きました。

今後もこのようなイベントを通して、若い世代に看護の魅力を伝えていきたいと思います。



# まちの保健室

令和7年 5月 9日	須賀川市	JA夢みなみ はたけんぼ
令和7年 8月 8日	棚倉町	JA東西しらかわ みりよく満点物語
令和7年 10月13日	白河市	しらかわスポーツフェスティバル
令和7年 11月 1日	白河市	しらかわJAまつり

本年度の県南支部事業「まちの保健室」は、今年も県南地域4カ所で開催しました。血圧測定や体脂肪測定、握力測定、手洗いチェック、健康相談などを実施しました。小さなお子さんからご年配の方まで、たくさんの方に足を運んでいただき、地域のみなさんの健康への関心の高さを改めて感じました。

特に、握力測定は普段測定する機会がないため実施される方が多く、高齢者だけでなく、親子で数値を見比べながら「パパより強いかな？」などと笑いながらお話しされる方もいました。親子で参加することで、自然と健康について話すきっかけとなっていました。

まちの保健室は、これからも楽しく・気軽に・家族で参加できる健康づくりの場として、地域の方々のニーズに合わせたアドバイスが提供できるよう、事業に取り組んでいきたいと思えます。

須賀川市  
はたけんぼ



棚倉町  
みりよく満点  
物語



白河市  
スポーツ  
フェスティバル



白河市  
JAまつり



# 第18回 令和7年度県南支部 看護研究発表会

## 演題 -SUBJECT-

福島県看護協会県南支部看護研究発表会は、令和7年12月13日（土）白河厚生総合病院内において開催されました。今年度は5施設より9題の演題発表がありました。

座長は、第1群 医療法人平心会 須賀川病院 佐藤孝徳さん、第2群 医療法人社団恵周会 白河病院 猪股静子さんに努めていただきました。

タスクシェア実践報告、職員のストレス、認知症ケア、ストーマケアなど各施設での日々の看護実践や業務についての発表がありました。質疑応答では、たくさんの質問や意見、感想が聞かれ他施設同士の情報交換の場となり、とても有意義な時間となりました。

今後も、県南支部看護研究発表会を通してたくさんの方に看護研究の実践や取り組みに興味を持っていただき、さらなる県南地域の看護の質向上につながることを期待しております。

### 第1群 5題

座長 医療法人平心会 須賀川病院 佐藤 孝徳

1. A 病棟看護師がせん妄状態がある患者を看護する場面で感じる困難感と対応  
..... 福島県厚生農業協同組合連合会 白河厚生総合病院 伊藤 有希
2. 小学校に訪問して医療的ケアを実施する訪問看護師の困難感 ―導尿1事例の看護記録を通して―  
..... 南東北春日訪問看護ステーション 永山 萌
3. 三交代勤務と二交代勤務の職務満足度、疲労度の比較  
..... 福島県厚生農業協同組合連合会 白河厚生総合病院 櫛田 彩香
4. リリーフへ行く看護師のストレスとモチベーション維持について実態調査 ―看護師の聞き取り調査から分かったこと―  
..... 公立岩瀬病院 我妻 史織
5. タスクシェアナーシングの導入  
..... 福島県厚生農業協同組合連合会 塙厚生病院 富岡 崇

### 第2群 4題

座長 医療法人社団恵周会 白河病院 猪股 静子

1. 地域ニーズからみた専門ナースの必要性  
..... 福島県厚生農業協同組合連合会 塙厚生病院 兼田 彰央
2. 認定看護師と病棟看護師によるストーマケアの実態  
..... 公立岩瀬病院 速水 夏穂
3. 認知症ケアの教育的介入による看護師の意識の変化  
..... 福島県厚生農業協同組合連合会 白河厚生総合病院 小室 眞紀
4. 急性期病棟における転倒転落スコアシートの活用 ―転倒転落スコアシート危険度別予防策を実施して―  
..... 公益財団法人 会田病院 北澤 琴音



# 施設紹介

## 医療法人社団博英会 かねこクリニック

(医) 博英会かねこクリニックは、みちのくの玄関口である新白河駅前において、地域の皆様の健康を支える「地域のかかりつけかねこさん」として、内科・整形外科を中心に診療を行っております。

総合的な診療はもちろん、各疾患の専門医による専門外来を行っており、また、ゲートキーパーとして幅広く適切かつ迅速な診療を提供しています。

さらに、医師・看護師・放射線技師・リハビリ専門職・管理栄養士・健康運動指導士などが、日常的に情報を共有し、多職種が連携して最適な診療を提案する点も特徴の一つです。

平成4年の開業以来、ニューロクリニックやなすのクリニック、介護老人保健施設ニコニコリハビリや居宅支援所、訪問看護・リハビリ、加えて、健康増進施設 KANAHA を設立し、医療・介護・予防が一体となった支援体制を整えています。

これにより、通院中の患者さまだけでなく、在宅で生活される方や健康づくりに取り組む地域の皆さまにも、切れ目のないサポートを実現しております。

これからも、各病院の先生方との連携はもとより、介護・福祉の関係者、地域行政等と密接な連絡を取り合い、地域とともに歩むクリニック、そして、地域に開かれた組織として、皆様に信頼される医療を提供し続けてまいります。



### 〈役員一同〉

〈支部長〉

吉田ミツエ

〈役員〉

根本由利子

久保木富美子

水野奈都子

兼田 涼子

渡部 静香

大星 知佳

### 〈教育委員〉

富岡 崇

円谷由里子

吉田ひとみ

橋本 洋子

鈴木 妙子

### 〈地域看護活動委員〉

久下 沙織

森合有希子

青木 和子

郷 順子

鈴木みゆき

(順不同)

### 編集後記

今回で15回目の支部だより発行となりました。今後も広報誌を通して皆様に県南支部活動や情報の発信をしていきたいと思えます。

